

フランスの鳥インフルエンザワクチン接種について

令和7年7月
動物衛生課

フランス農業省の[ウェブサイト](#)等によると、フランスの鳥インフルエンザワクチン接種の概要は以下のとおり。

0. 近年の鳥インフルエンザ発生状況

| シーズン | 2015/2016 | 2016/2017 | 2020/2021 | 2021/2022 | 2022/2023 | 総計 |
|-------------------------|-----------|--------------|--------------|-----------|-------------|-------|
| 発生件数 | 81 | 488 | 492 | 1377 | 402 | 2840 |
| 殺処分羽数(百万羽) (うち予防殺) | 0.35 | 4.5 (2.5) | 3.3 (2.2) | 22 (6) | 10 (3.5) | 40.15 |
| 手当金(億円) (1€=156円で計算) | 212 | 273 | 246 | 969 | 861 | 2,562 |

(出典) IABS フォーラム (2024年10月22、23日) フランス政府プレゼン資料

1. 接種時期

2023年10月～

2. 接種対象動物

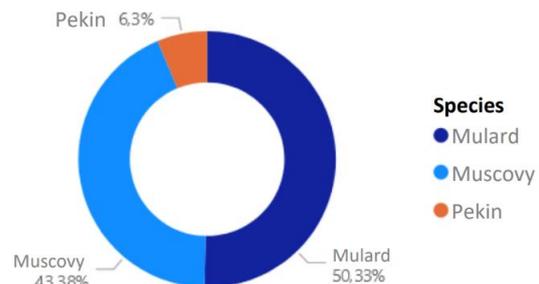
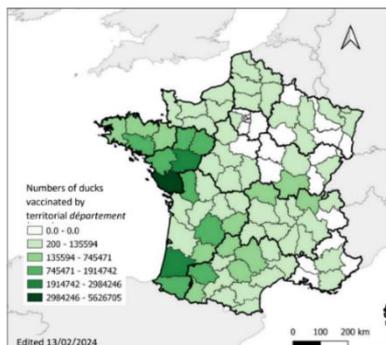
コルシカ島を除くフランス全土のアヒル商用農場(250羽以上飼養)が対象。対象動物の詳細は以下のとおり。

| 畜種 | 生産段階 | 繁殖段階 |
|--------------------------------------|------|--|
| アヒル* ・ムラードダック ・バリケン ・ペキンダック | 接種義務 | 任意接種 ただし、他のEU加盟国や第三国に輸出される種卵・初生ひなを生産するアヒルには接種禁止 |
| その他の家きん | 接種禁止 | 接種禁止 |

* ムラードダックはフォアグラ生産用であり、バリケンとペキンダックの交雑種。

2023年10月から2024年3月までに約2,925万羽に接種。この間に1度以上の接種を実施した農場数は2,081農場。(2023年10月から2024年9月26日までに2,295農場の約6,050万羽に接種)

フランスの県ごとの接種状況(左図)と接種対象アヒル種の内訳(右図)



3. 使用ワクチン

| 製品名 | Volvac B. E. S. T. AI+ND® | CEVA RESPONS AI H5 |
|--------|---|--|
| 製造者 | ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス フランス | セヴァ アニマルヘルス フランス |
| タイプ | HPAI H5 抗原のサブユニットワクチンとニューカッスル病の不活化ワクチンの混合ワクチン | HPAI H5 mRNA ワクチン |
| 接種経路 | 頸部の皮下接種 | 筋肉内接種 |
| 接種回数 | 2回※（ムラードダック、バリケンについては10日齢及び28日齢、ペキンダックについては1日齢及び19日齢） | 2回※（1日齢及び3～4週齢） |
| DIVA性能 | 野外感染と接種家きんを区別可能（接種家きんはNP ELISA 陰性） | 野外感染と接種家きんを区別可能（接種家きんはNP ELISA 陰性） |
| 承認状況 | フランス当局による期限付きの一時的な使用許可であり、正式な薬事承認は無し | フランス当局による期限付きの一時的な使用許可であり、正式な薬事承認は無し |
| 保管条件 | 5℃で冷蔵保管 | ～72時間：2～8℃で冷蔵保管 ～28日：-20℃ ～24か月：-60℃ |

※ 長期間飼養するムラードダックについては、さらにブースター接種も実施（2024年3月までに約159万羽にブースター接種）。

4. 費用負担

2023年10月から1年間のワクチン接種キャンペーン全体（接種後のサーベイランス等も含む）で約1億ユーロ（約156億円）を要し※、その85%を国が負担。

2024年10月からのキャンペーンでも同額を見込み、その70%を国が負担。

（仏当局職員によると、2025年10月からのキャンペーンでは40%を国が負担。）

※ 内訳は、ワクチン接種費用で27%、ワクチン購入費用で24%、ワクチン管理に係る費用で18%、アクティブサーベイに係る費用で17%、その他の項目で14%。

このうち、農家の負担分としては、ワクチン接種費用の約半分（全体の13%）と、その他の項目に含まれるパッシブサーベイに要する費用（全体の2%）の計15%が該当。

5. 接種者

公的獣医官※の監督の下、家きんの所有者や従業員も接種が可能。政府は、接種者1名と捕鳥者2、3名で作業すれば、1時間当たり800-1,000羽の接種が可能としている。

（※ 動物衛生当局が権限を委任することで、農場の衛生獣医師（民間の獣医師）も公的獣医官として業務を行うことが可能。）

6. 接種後のサーベイランス

ワクチン接種家きん群では、平時から実施している異状の通報によるパッシブサーベイランスに加えて、以下のサーベイランスを実施。

| タイプ | 強化パッシブサーベイランス | アクティブサーベイランス |
|------------------------|--|--|
| 適用単位 | 疫学単位ごと※ ¹ | |
| 採材者 | 所有者等 | 公的獣医官※ ² |
| 検査 | 死鳥最大5羽のスワブ（気管又はクロアカ）を用いたリアルタイムPCR（検体プール可）（死鳥が存在しない場合は採材・検査せず※ ³ ） | 生鳥60羽のスワブ（気管又はクロアカ）を用いたリアルタイムPCR（検体5羽プール可） |
| 頻度 | 毎週実施 | 30日ごとに実施 |
| ラボ | 認定ラボ※ ⁴ | 承認ラボ※ ⁵ |
| 2023年10月から2024年3月までの実績 | 18,242 検体の検査を実施 → 鳥インフルエンザ陰性 | 457,758 検体の検査を実施 → 鳥インフルエンザ陰性 |

※¹ 交差汚染の可能性がないと判断される単位（分割管理にも適用される単位）。

※² 公的獣医官には、当局から業務委託を受けた衛生獣医師を含む。

※³ 2024年4月以降、死鳥が不足する場合、何らかの症状を呈している生鳥から採材・検査。

※⁴ 内部精度管理を実施しており、農業大臣によって指定されているラボ。

※⁵ 公的な検査を実施できるラボ。

（仏）はEU規則に上乗せしたフランス独自の検査

7. 接種群の防疫措置

接種群で鳥インフルエンザの発生が確認された場合、全羽殺処分を実施。

EU共通ルールに基づき接種家きんに対する移動制限（育成中は自国内移動に限る等）を実施。接種家きんから生産された肉・食用卵については移動制限無し。

8. ワクチン接種の評価

（1）ワクチン接種による発生低減効果について

フランス政府や欧州委員会は、2023-2024年シーズン（2024年3月まで）の発生について、環境中のウイルス濃度が比較的低かった可能性を指摘しつつも、「ワクチン無しでは487事例（95%信頼区間：314-756）発生すると予測されたが、ワクチン接種により10事例の発生で抑えられた」と評価し、その旨を公言（2024年10月22及び23日 IABS フォーラム）。また、仏研究機関がこの評価研究について Emerging Infectious Diseases 誌に投稿※。

※ フランスのトゥールーズ大学の研究。Emerging Infectious Diseases, Volume 31, Number 7-July 2025, Research letter, Early Release.

[Promising Effects of Duck Vaccination against Highly Pathogenic Avian Influenza, France 2023-2024](#)

(2) 接種アヒル群での発生について

ア 2023-2024 シーズン

計 10 事例発生し、うち 2 事例（1 月 2 日及び同 5 日に発生確認）がワクチン接種済みアヒル農場での発生。フランス政府はこれらの発生の原因として、

- ① 1 月 2 日の発生事例については、高リスクの野鳥に暴露され、かつ、接種から 10 週が経過し免疫レベルが落ちていたこと
 - ② 1 月 5 日の発生事例については、十分な免疫が得られる前（初回接種後 8 日目）での感染であったこと
- を挙げている（2024 年 10 月 22 及び 23 日 IABS フォーラム）。

イ 2024-2025 シーズン

2024 年 8 月から 2025 年 1 月までに計 15 事例発生し、うち 5 事例がワクチン接種済みアヒル農場での発生。

(3) 接種群でのサーベイランスの評価について

フランスの研究機関は、2025 年 1 月に発行された論文の中で、アクティブサーベイランスは感度及び迅速度が低いため、強化パッシブサーベイランスに注力し、アクティブサーベイランスは縮小すべきと主張。

※ フランスのトゥールーズ大学の研究。

Volume 31, Number 1 January 2025 Emerging Infectious Diseases, CDC

[Surveillance Strategy in Duck Flocks Vaccinated against Highly Pathogenic Avian Influenza Virus](#)